

施設名: _____

氏名: _____

1. SH1.障害とその支援に関する理解【久保山茂樹講師】

問題	子どもとかかわる時、障害名や診断名にこだわりすぎない方が良いのはなぜでしょうか。具体例をあげて説明して下さい。
回答	障害名や診断名にこだわりすぎることによって、ADHDだから集中できないのだとか、ダウン症だからわがままなのだなど、保育者のまなざしが子どものうまくいかなさのみに向けられてしまったり、保育がうまくいかないのがその子の障害のせいだと捉えてしまったり、障害がその子の全てであるかのような理解になってしまったりする等が記述されていること。

2. SH2.気になる子どもの視点から保育を見直す【久保山茂樹講師】

問題	障害があると言われている子どもにも、よさや得意があります。よさや得意に気づくためには、子どもにどのようにかかわったらよいでしょうか。具体的に述べて下さい。
回答	どの子どもも「いま ここ」を懸命に生きているととらえること、子どものありのままの姿を認めること、何かに夢中になっていたら横に並んでみること、他児と比べないこと等が具体的に記述されていること。

3. SH3.障害児の発達の援助【差波直樹講師】

問題	自園の保育室や園内において、特別な支援を必要とするお子さんにとって有効だと考えられる環境の構成や教材を一つ挙げてください。そのことについて、どのような意図があり、どのような工夫がなされているのかなどについて考察してください。
回答	自分の保育における環境の構成の意図や教材の工夫が、自ら価値化され、言語化されていると良い。それに加え、子どもの特性に基づき、また、子どもの思いに寄り添ったり気づいたりしながら、環境の構成や教材の工夫が考察されていることがより望ましい。

4. SH4.障害児保育の指導計画、記録及び評価【三浦主博講師】

問題	指導計画に基づいて、障害や発達に課題のある子どもの保育実践を行うにあたり、クラスの他の子どもと共に育ちあうクラス運営を行うための工夫や留意点について述べてください。
回答	障害や発達に課題のある子どもとクラスの子どもが共に育ちあうためのクラス運営の工夫や留意点について、講師が講座で話した内容に即して、具体的に述べていること。

5. SH5.気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働【久保山茂樹講師】

問題	診断を受けることによるプラスの効果とマイナスの効果についてそれぞれ具体的に述べて下さい。
回答	プラスの効果として、育て方のせいではないことが確認できる、同じ障害について情報が得られる、前向きになれる保護者もいる等、マイナスの効果として、精神的なショックが大きい、保護者自身や家庭の危機が起きる可能性がある、保護者が障害名で子どもを見るようになる等が具体的に記述されていること。

6. SH6.関係機関との連携【若月芳浩講師】

問題	園内の連携を大切にする事が保育の質的に向上につながるために必要な配慮とは何か考察しなさい。
回答	園内での連携を良くするためには、先ずは保育者間の対話が重要になる。また、対話を共有するためには、話し合いの見える化などの工夫が必要。子ども主体の保育を実現することによって子どもの興味関心を知る事で子どもの理解が深まり、連携が可能となる。